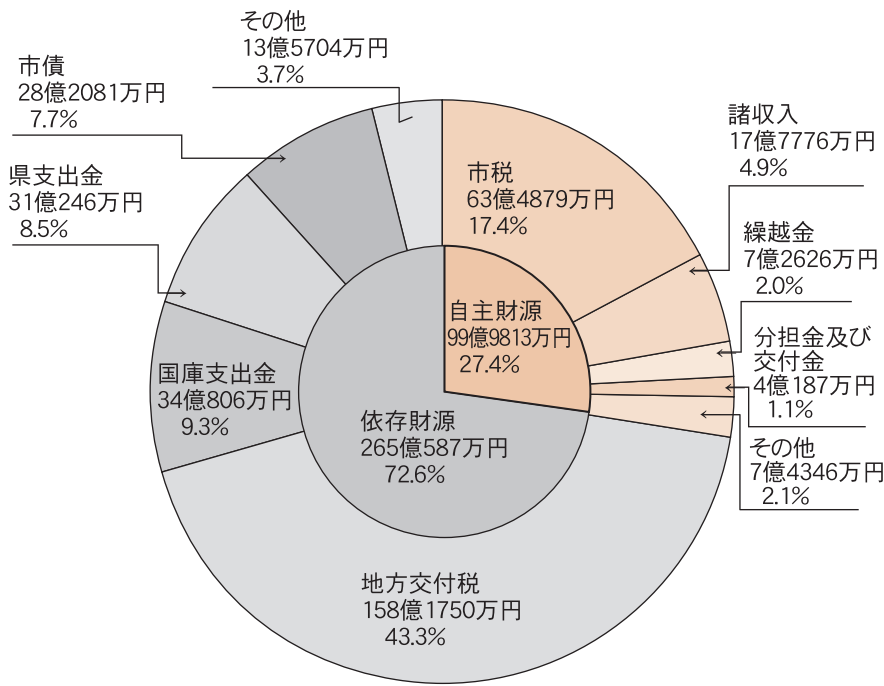


的確に使われたか

歳入 365億400万円
(対前年比10億6690万円の増)



9月定例会は8月28日から9月20日までの24日間の会期で開催しました。開会日には一部事務組合議員の補充選挙を行いました。(P10)市長より提案された議案は、3億9375万円を追加する一般会計補正予算、条例改正案など議案12件と平成24年度決算認定(一般会計、特別会計11、水道事業会計)が提案されました。最終日に追加議案として、子育て支援総合施設(仮称)に関する工事請負契約の締結について1件、専決処分1件、人事1件、及び議員提出の意見書案2件が上程されました。

いずれも原案どおり可決・同意しました(賛否表P18)

一般質問は10人の議員が登壇し、市政全般にわたり質問しました。

決算の概要

平成24年度の一般会計歳入歳出決算は、歳入総額が365億400万円、前年比3.0%の増加となっています。歳出総額は350億9370万円、前年比4.1%の増加となっています。歳入歳出差引額は、14億1029万円になり、そのうち2億8759万円が、翌年度へ繰越すべき財源であり、実質的な黒字は11億2270万円です。

◆歳入

歳入の主なものをみると市税が歳入全体の17.4%にあたる63億4879万円(対前年比2.1%減)、地方交付税が43.3%にあたる158億1750万円(対前年比4.9%増)で自主財源は27.4%(対前年比0.6%減)、依存財源は72.6%(対前年比0.6%増)となっています。

◆歳出

増加した主なものは、民生費、総務費、災害復旧費などで、九州北部豪雨による事業費の増加により災害復旧費が前年度より大きく増加しています。

24年度の主な事業は次のページをご覧ください。

平成24年度 一般会計決算

市の財源は

八女市の財政状況は？

○財政力指数【0.360】

地方公共団体の財政力を示す指数で、数値が1に近いほど財政力が強いとされています。なお1を超えると国からの普通交付税の交付を受けなくなります。

○経常収支比率【82.8】

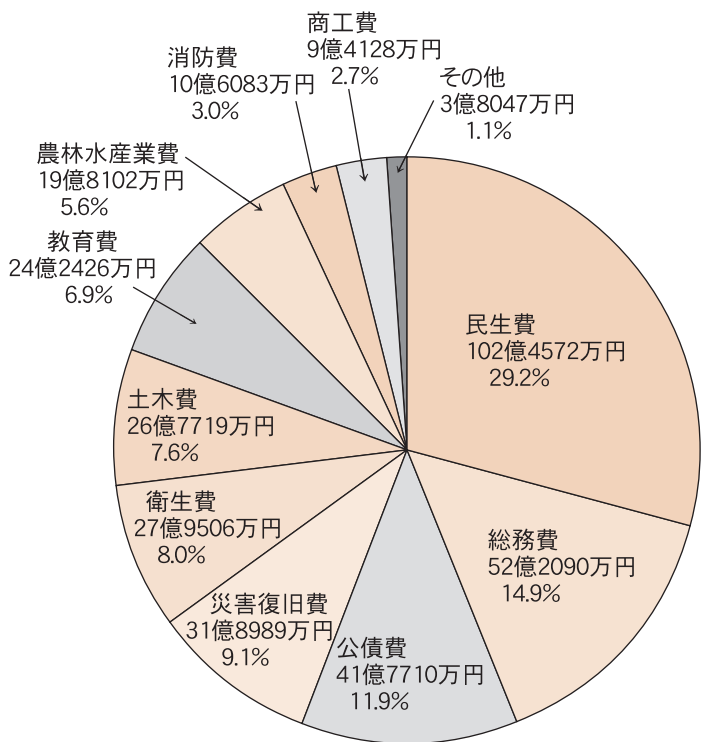
市税、普通交付税のように、経常的収入（常に見込める収入）のうち人件費、扶助費、公債費のように経常的支出（常に支払う必要がある支出）に充当されたものが占める割合です。

この数値が高いほど財政運営に余裕がないことを示しており、市で80%を超えると財政構造は弾力性を失いつつあると考えられています。しかし、多くの市町村で80%を超えている現状から、あくまで目安にしかならないと考えます。

○実質公債費比率【9.5】

標準財政規模に対して借金の返済額の割合を出したものです。18%以上となると地方債発行（借金）に国や県の許可が必要になります。

歳出 350億9370万円
(対前年比13億8287万円の増)



平成24年度 の主な事業

○八女東部スポーツ公園整備事業（新規）
5億396万円

サッカーコート2面が配置可能な天然芝の多目的グラウンド（フィールド面積21、982㎡）の整備工事を実施した。また、乗用芝刈り機などの大型備品を配備し、芝生養生後、平成25年度のオープンに向け整備を行った。

○やめっ子夢祝金事業（新規）
2045万円

八女市の未来を担う子ども誕生と健やかな成長を願い、出生児1人に対して5万円の「やめっ子夢祝金」を409名に支給した。

○へき地へりポート整備事業
6749万円

矢部村・星野村の2カ所にへりポートを整備したことで、搬送時間の短縮ができ、治療開始の遅れが解消されるようになった。

○緊急放送FM告知受信機設置等整備事業（新規）
1億1696万円
市内全世帯にFM告知受信機を配付した。受信が困難な世帯には難聴対策を行い、情報通信手段の整備を図った。

○住宅用太陽光発電システム設置推進事業（新規）
2627万円
住宅用太陽光発電システムを設置する者に対し、補助金を交付することにより、市民による自然エネルギーの利用を促進し、自然エネルギーの有効活用による環境負荷の少ない環境型社会を構築するため助成した。
(補助件数271件)